



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東  
 コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大河原 泰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 印部 修一 (TEL) 03(6736)5678  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,411	△14.2	49	△67.1	14	△94.3	△9	—
2025年3月期第1四半期	3,974	△13.2	150	△63.5	253	△39.7	241	△11.1

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△1.07	—
2025年3月期第1四半期	27.14	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,710	5,977	61.6
2025年3月期	10,244	6,120	59.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,977百万円 2025年3月期 6,120百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	△5.9	200	△64.4	100	△81.5	60	—	6.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	9,105,290株	2025年3月期	9,105,290株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	200,292株	2025年3月期	200,292株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	8,904,998株	2025年3月期1Q	8,905,054株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2024年10月27日に当社千葉工場にて発生した火災により、お客様、お取引様、関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを謹んでお詫び申し上げます。

当第1四半期累計期間（以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、企業収益が緩やかな回復基調にある一方、世界的な原材料・資源価格の高騰、円安等による物価上昇や不安定な国際情勢の長期化等、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品・外食業界におきましては、消費者の節約志向が高まる中で、原材料価格や人件費、物流費の上昇による収益の圧迫が継続しています。こうした諸コストの高騰に加え、慢性的な人手不足の影響もあり、経営環境は厳しさを増しております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度(2024年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供すること」を一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期は、火災による一部製品休売の影響により、売上高は3,411百万円（前年同四半期比14.2%減）、営業利益は49百万円（同67.1%減）となりました。千葉工場で発生した火災に関連する損失として、営業外費用に操業停止関連費用69百万円、特別損失に火災損失30百万円を計上したため、経常利益は14百万円（同94.3%減）、四半期純損失は9百万円（前期は241百万円の黒字）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 食品事業

食品事業におきましては、人流や消費活動の回復、インバウンド需要の増加等により、業務用分野は堅調に推移いたしました。一方で、小売市場における価格改定が続く中、消費者の生活防衛意識は一層顕著となり、食品スーパー、生協等の家庭用分野では食料品の買い控えや低価格志向が続く等、厳しさが増しております。加えて、千葉工場の火災による一部製品の出荷数削減および休売を余儀なくされており、引き続き売上面・収益面に大きな影響を及ぼしております。

このような状況下、業務用については主力である外食市場をはじめとした新規開拓を進めるとともに、既存取引先・重要広域卸問屋への提案強化や、既存商品の更なる拡売、展示会への参加等による関係深化に努めてきました。家庭用については惣菜・ペーカリー分野の強化、家庭用冷凍ピザの投入による市場開拓とともに、アイテム集約等を通じた収益改善を図ってまいりました。

また創業60周年を記念して発売した家庭用本格冷凍ピザ「THE PIZZA」2品とともに、北海道八雲町に新設した「八雲ピザ工房」で製造する、生地・トッピングにこだわったデルソーレ史上最高級の冷凍ピザ「HOKKAIDO PIZZA」4品を、高級量販店、自社ECサイト、デパート催事、ふるさと納税等で高付加価値商品として拡販に努めております。

マーケティング活動として、ピザ、ナン、ピタパン、フォカッチャ、トルティーヤといった「世界のパン」をWEB、YouTube、SNS等多様なチャネルから情報を発信することで、楽しい食文化や食体験を通して食のバリエーションを提供し、食卓を豊かにしたいという想いととも、市場の拡大を目指しております。海外ビジネスは、北欧リトアニアの海外パートナー企業との連携によるヨーロッパの本格的な冷凍パン販売に取り組みつつ、米国パートナー企業との冷凍チーズ販売については品質の差別化が認められ、売上を伸ばしております。さらに輸出に関しては、海外からの引き合いも増加しており、円安を追い風に取引を加速させ、今後は当事業の重要な柱として育成してまいります。

販売管理面では、売上規模に見合った在庫水準の適正化や、物流効率化の取り組み等を引き続き進めております。

この結果、当第1四半期の売上高は2,667百万円（前年同四半期比17.3%減）、セグメント利益は90百万円（同80.1%減）となりました。

なお、現在操業停止をしております一部製造ラインにつきましては、お取引先並びに工事業者の皆様のご尽力のもと、鋭意復旧作業に取り組んでおり、秋口には製造を再開できる見込みとなっております。

## 外食事業

外食事業におきましては、訪日外国人の増加等により堅調な需要が続いている一方、原材料価格の高止まり、物流費や水道光熱費の高騰に加え、今後も恒常的な人手不足や最低賃金の上昇が見込まれており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、既存店の更なる質の向上に取り組んでおります。具体的には食材ロス低減の取り組み、人員配置の最適化や在庫管理等、徹底したコストコントロールを実施するとともに、テイクアウトブランドの強化による収益改善に引き続き注力してまいりました。特に「おめで鯛焼き本舗」を当社における成長ドライバーとして位置づけ、百貨店や商業施設への催事出店やフランチャイズ加盟活動を中心とした「守り」から「攻め」への転換を図るべく取り組んでおります。

当第1四半期は、6月にテイクアウト業態の「おめで鯛焼き本舗」1店舗を閉店しました。

この結果、当第1四半期の売上高は750百万円（前年同四半期比0.7%減）、セグメント利益は36百万円（同0.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第1四半期会計期間末（以下「当第1四半期末」という。）における総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）から533百万円減少し、9,710百万円となりました。流動資産合計は、現金及び預金が776百万円減少する一方、商品及び製品が58百万円、売掛金が28百万円増加したこと等により、563百万円減少し5,435百万円となりました。固定資産合計は、有形固定資産合計が6百万円、投資その他の資産合計が16百万円それぞれ増加したこと等により、29百万円増加し4,275百万円となりました。

### (負債の部)

当第1四半期末における負債合計は、前期末から391百万円減少し、3,733百万円となりました。流動負債合計は、火災損失引当金が312百万円、支払手形及び買掛金が121百万円それぞれ減少したこと等により、384百万円減少し2,247百万円となりました。固定負債合計は、長期借入金が15百万円減少したこと等により、7百万円減少し1,485百万円となりました。

### (純資産の部)

当第1四半期末における純資産は、前期末から142百万円減少し、5,977百万円となりました。四半期純損失9百万円を計上した他、配当金の支払いによる133百万円により、利益剰余金は143百万円減少しました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、2025年5月15日発表の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,737,373	1,961,015
売掛金	2,026,992	2,055,128
商品及び製品	793,997	852,619
原材料及び貯蔵品	242,078	255,816
その他	197,869	310,496
流動資産合計	5,998,312	5,435,078
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,302,459	4,305,309
減価償却累計額	△3,146,291	△3,176,365
建物（純額）	1,156,168	1,128,943
機械及び装置	2,608,213	2,639,107
減価償却累計額	△2,080,251	△2,075,303
機械及び装置（純額）	527,962	563,804
その他	1,640,632	1,642,099
減価償却累計額	△490,431	△494,037
その他（純額）	1,150,200	1,148,061
有形固定資産合計	2,834,331	2,840,810
無形固定資産	8,511	15,208
投資その他の資産		
その他	1,410,712	1,427,046
貸倒引当金	△7,234	△7,234
投資その他の資産合計	1,403,478	1,419,812
固定資産合計	4,246,320	4,275,830
資産合計	10,244,632	9,710,909
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,399,573	1,278,342
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	24,796	15,455
賞与引当金	145,002	53,161
火災損失引当金	548,623	236,277
その他	453,412	604,150
流動負債合計	2,631,408	2,247,388
固定負債		
長期借入金	90,000	75,000
退職給付引当金	585,970	585,075
役員退職慰労引当金	273,718	277,780
資産除去債務	494,996	495,522
その他	48,442	52,442
固定負債合計	1,493,128	1,485,820
負債合計	4,124,536	3,733,208

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	3,946,707	3,803,604
自己株式	△87,489	△87,489
株主資本合計	6,041,363	5,898,260
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,732	79,440
評価・換算差額等合計	78,732	79,440
純資産合計	6,120,096	5,977,700
負債純資産合計	10,244,632	9,710,909

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,974,839	3,411,503
売上原価	2,481,450	2,158,718
売上総利益	1,493,389	1,252,784
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	410,442	399,512
賞与引当金繰入額	37,197	34,671
退職給付費用	8,927	7,623
役員退職慰労引当金繰入額	5,715	6,062
荷造運搬費	293,405	210,663
その他	587,134	544,759
販売費及び一般管理費合計	1,342,821	1,203,291
営業利益	150,567	49,492
営業外収益		
受取利息	0	-
受取配当金	19,732	26,661
受取手数料	213	180
受取補償金	82,882	1,172
その他	1,779	8,064
営業外収益合計	104,609	36,079
営業外費用		
支払利息	251	180
支払保証料	1,698	1,698
操業停止関連費用	-	69,152
その他	59	70
営業外費用合計	2,010	71,102
経常利益	253,166	14,469
特別利益		
国庫補助金受贈益	80,000	-
特別利益合計	80,000	-
特別損失		
火災損失	-	30,574
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,769	-
特別損失合計	4,769	30,574
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	328,396	△16,105
法人税、住民税及び事業税	39,018	6,509
法人税等調整額	47,674	△13,086
法人税等合計	86,693	△6,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	241,703	△9,528

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(操業停止関連費用について)

当第1四半期の損益計算書に計上している営業外費用の操業停止関連費用は、当社千葉工場にて2024年10月に発生した火災により、一部生産設備の操業が停止したことに伴い、操業停止中の減価償却費、休業手当等を営業外費用に振り替えた金額であります。

(火災損失について)

当第1四半期の損益計算書に計上している特別損失の火災損失は、当社千葉工場にて2024年10月に発生した火災による修繕費等による損失であります。一部については、今後発生する金額を見積もった上で、火災損失引当金として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	3,221,410	745,637	3,967,048
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	7,791	7,791
顧客との契約から生じる収益	3,221,410	753,428	3,974,839
外部顧客への売上高	3,221,410	753,428	3,974,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,980	2,571	5,552
計	3,224,391	756,000	3,980,391
セグメント利益	456,215	36,479	492,695

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	492,695
全社費用(注)	△164,327
棚卸資産の調整額	28
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	328,396

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	2,664,955	737,916	3,402,872
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	8,630	8,630
顧客との契約から生じる収益	2,664,955	746,547	3,411,503
外部顧客への売上高	2,664,955	746,547	3,411,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,019	4,383	7,403
計	2,667,975	750,931	3,418,906
セグメント利益	90,866	36,350	127,216

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	127,216
全社費用（注）	△142,915
棚卸資産の調整額	△406
四半期損益計算書の税引前四半期純損失	△16,105

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	88,878千円	71,940千円